

ISSN 1344-4174

FOREST RESEARCH, KYOTO

No. 71

December, 1999

THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

KYOTO, JAPAN

森 林 研 究

第71号

京都大学大学院農学研究科附属演習林

1999. 12

森 林 研 究

第71号

目 次

— 論 文 —

- 藤田 夕希 陸生等脚類の分布と環境—京都市域を中心に— 1
渡辺 弘之
- 二井 一禎 アカマツ林における“マツ枯れ”被害の進展様式 9
- 平山貴美子 冷温帯スギ・落葉広葉樹林における高木・亜高木種の葉フェノロジーとその類型化 19
寄元 道徳
- Gregorio ANGELES-PEREZ モミ・ツガ天然林におけるモミ当年生実生の消長過程と死亡要因 27
寄元 道徳
- 荒木 安理
加藤 剛
金子 隆之 西表島・石垣島の谷部に生育するサキシマスオウノキ林の構造について 35
渡辺 弘之
新本 光孝
- 野瀬 光弘 地球温暖化防止に向けた国際会議における森林の取り扱い 45
加納 裕子 —気候変動枠組条約の準備交渉から京都議定書の作成まで—
- 内田 太郎
小杉賢一朗 芦生演習林内トヒノ谷におけるパイプ流が洪水流出機構に及ぼす影響 55
水山 高久
勝山 正則
- 山下 康
渡辺 弘之 ラバーウッド：その供給特性と利用の発展 65
竹田 晋也
- 高橋絵里奈 東吉野村人工林の沿革、現状と今後の施業指針 71
竹内 典之
- 芝 正己 岐阜県下の素材生産事業体の伐出作業を事例とした
DEA(Data Envelopment Analysis)効率性評価に関する研究 77
- 短 報 —
- 渡辺 弘之
竹田 晋也 ラック（シェラック）の生産・流通・消費の連関構造 97
金子 隆之

FOREST RESEARCH, KYOTO

No. 71

CONTENTS

— Articles —

- Yuki FUJITA
Hiroyuki WATANABE Terrestrial isopods and their habitats -A case study in Kyoto city- 1
- Kazuyoshi FUTAI The epidemic manner of pine wilt spread in a Japanese red pine stand 9
- Kimiko HIRAYAMA
Michinori SAKIMOTO Classification of canopy and subcanopy tree species based on their leaf phenology 19
in a cool temperate conifer-hardwood forest, Kyoto
- Gregorio ANGELES-PEREZ
Michinori SAKIMOTO Emergence-disappearance processes and mortality factors of
current-year seedlings of *Abies firma* in a natural *Abies-Tsuga* forest, Wakayama 27
- Ari ARAKI
Tsuyoshi KATO
Takayuki KANEKO
Hiroyuki WATANABE
Mitsutaka ARAMOTO Stand Structure of Looking-glass Tree (*Heritiera littoralis*) 35
Forest in Small Valleys on Iriomote and Ishigaki Islands.
- Mitsuhiro NOSE
Yuko KANO Forest in international discussion of global warming - From preparation of 45
Framework Conference on Climate Change to adoption of Kyoto Protocol -
- Taro UCHIDA
Ken'ichirou KOSUGI
Takahisa MIZUYAMA
Masanori KATSUYAMA Effects of pipeflow on runoff generation process 55
at a headwater catchment in Toinotani, Kyoto University forest in Ashiu.
- Yasushi YAMASHITA
Hiroyuki WATANABE
Shinya TAKEDA Rubberwood: Characteristics of its supply and development of its utilization 65
- Erina TAKAHASHI
Michiyuki TAKEUCHI Title History, present condition and indicator of forestry in Higashiyoshino 71
- Masami SHIBA Dateneinhüllungsanalytische Anwendungsmöglichkeiten zur Bewertung der relativen
Leistungsfähigkeit von Holzerntemaßnahmen dargestellt am Beispiel des privaten 77
Holzproduktionskörpern in der Präfektur Gifu

— Short Communications —

- Hiroyuki WATANABE
Shinya TAKEDA
Takayuki KANEKO Lac (Shellac) production in tropical Asia and its utilization in Japan 97

森林研究 第71号 編集委員会

編集委員長：渡辺 弘之 林長 教授 森林科学専攻

編集委員：岩井 古彌 教授 森林科学専攻
中坪 文明 教授 森林科学専攻
増田 稔 教授 森林科学専攻
水山 高久 教授 森林科学専攻
吉田 博宣 教授 森林科学専攻
武田 博清 教授 地域環境科学専攻
大島 誠一 教授 演習林
竹内 典之 教授 演習林
安藤 信 助教授 演習林
芝 正己 助教授 演習林
柴田 昌三 助教授 演習林

FOREST RESEARCH, KYOTO No. 71

Editor-in-Chief

Hiroyuki WATANABE Director of the University Forests, Professor, Division of Forest and Biomaterials Science

Editorial Board

Yoshiya IWAI Professor, Division of Forest and Biomaterials Science
Fumiaki NAKATSUBO Professor, Division of Forest and Biomaterials Science
Minoru MASUDA Professor, Division of Forest and Biomaterials Science
Takahisa MIZUYAMA Professor, Division of Forest and Biomaterials Science
Hironobu YOSHIDA Professor, Division of Forest and Biomaterials Science
Hiroshi TAKEDA Professor, Division of Environmental Science and Technology
Seiichi OHATA Professor, University Forests
Michiyuki TAKEUCHI Professor, University Forests
Makoto ANDO Associate Professor, University Forests
Masami SHIBA Associate Professor, University Forests
Shozo SHIBATA Associate Professor, University Forests

「森林研究」投稿規定

平成10年4月9日制定

1. 投稿資格

投稿者は下記の者とする。

- (1) 京都大学に所属する教職員。
- (2) 上記以外の者で「森林研究」編集委員会（以下「編集委員会」という。）が認めた者。

2. 投稿原稿の種類

- (1) 投稿原稿は、和文または英文とし、未発表のものに限る。
- (2) 投稿原稿の種類は次のとおりとする。
 - 1) 論文：森林科学に関する理論的または実証的な研究・技術の成果であって、独創性があり、論文として完結した体裁を整えているもの。
 - 2) 短報：森林科学に関する研究・技術の成果であって、予報的または速報的な内容の論文に準ずる報告。
 - 3) 総説：森林科学に関する研究・技術動向についての評論、検討、解説であって、研究の向上・促進に資すると認められるもの。

3. 原稿の長さ、体裁

原稿の長さは、表、図および写真等すべてを含む刷り上がりだが、原則として論文、総説については10ページ以内、短報は4ページ以内とする。ただし、編集委員会が認めた場合は上記ページ数を超過することができる。

なお、刷り上がり1ページは和文で約2600字、英文で約5200字に相当する。

4. 原稿の提出

- (1) 原稿は執筆要領に従って作成し、図、表、写真を含む全文のコピー3部と投稿連絡表を「森林研究」編集委員会事務局に提出する。
- (2) 原稿の受理日は、編集委員会が掲載を決定した日とする。
- (3) 原稿受理通知後は、編集委員会の指示に従い、最終原稿本文（図、表、写真の題名と説明文を含む）とそのフロッピーディスク（MS-DOSフォーマットされたテキストファイル）を提出すること。
- (4) 最終原稿の締切日は編集委員会の指定した日とする。

5. 投稿原稿の校閲と採否

投稿原稿の校閲は編集委員会で委嘱した学内外の校閲者2名が行い、校閲結果に基づいて編集委員会が原稿の採否を決定する。

6. 校正

著者校正は2校までとし、文章、文字等の誤植の訂正にとどめ、加筆、図表などの内容の変更は原則として認めない。

7. 原稿の返却

原稿は著者に返却しない。ただし、投稿時に申し出があれば印刷終了後、原本と原図表、写真を返却する。

8. 印刷に関する著者の経費負担

印刷経費（別刷り50部を含む）は無料とするが、カラー印刷、超過ページおよび50部を超える別刷りの実費は著者の負担とする

ただし、印刷経費が予算を超過した場合は、投稿原稿のページ数に応じて著者負担とする場合がある。

9. その他

原稿の送付、その他編集についての問い合わせ先は下記のとおりである。

問い合わせ先：京都大学大学院農学研究科附属演習林計画掛

TEL：075－753－6420 FAX：075－753－6451

E-mail: keikaku@kais.kyoto-u.ac.jp

従来の「京都大学農学部演習林報告」は第70号から「森林研究」と改名し、号数は継続踏襲した。

Formerly titled: BULLETIN OF THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS. The Bulletin has a new name: "FOREST RESEARCH, KYOTO". The Volume number, however, continues in sequence following the former title. Thus, the new volume starts from No. 70. Correspondence regarding this Journal should be addressed to the Headquarters of Kyoto University Forests, Kyoto University, Kitashirakawa, Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan.

「森林研究」誌名の略記法

和文：森林研究

英文：FOR.RES.,KYOTO

平成11年12月28日 印刷

平成11年12月28日 発行

発行所 京都大学大学院農学研究科
附属演習林
京都市左京区北白川追分町

印刷者 立木 勲

印刷所 (株)あおぞら印刷
京都市中京区西ノ京原町15

